

2019/10/11 道央 (空知)

5Gロボ農機 相次ぐ視察

岩見沢・北村地区の実証試験

経団連「全国への波及大事」

【岩見沢】市と北大、NTTグループが今月から市内北村地区で始めた、第5世代（5G）移動通信システムを使った無人ロボットトラクターの遠隔制御など実証試験の視察が相次いでいる。9日はドイツ連邦議会の議員、10日は経団連のメンバーらがそれぞれ訪問。農業分野への5G活用について、経団連の古賀信行審議員会議長は「農業の進化をしやすいもの。環境整備が進む一助になる」と期待を込めた。

（中沢弘一）

独議員「非常に先進的」

高速大容量が特長の5Gを使ったロボットトラクターの遠隔制御の実証は国内



④無人のロボットトラクターの遠隔制御の様子を視察するドイツ連邦議会の議員団＝9日
⑥北大大学院農学研究院の野口伸教授が、5Gを活用した搭載カメラの映像を解説＝10日



立ち向かう
農業

初の試み。市は情報通信技術（ICT）を使った「スマート農業」を推進している。

10日の経団連の視察には約30人が参加。離れた場所の複数のロボットトラクター

を遠隔制御したり、公道を走行してほ場間を移動する初の実証も行った。また、北大大学院農学研究院の野口伸教授が解説し、トラクターに搭載したカメラからの映像も確認。参加者からは「映像が鮮明。細部まではつきり見える」とした感想も寄せられた。

視察後、古賀議長は報道陣に対し、「岩見沢のスマート農業の取り組みは定評があり、一度見てみたかった」とし、「地域限定ではなく、こうした実例を全国に波及させていくことが大事だ」と述べた。同日は、

これとは別に、スマート農業の実用化に取り組み北海道近未来技術地域実証協議会のメンバーによる視察もあった。

9日に実証試験を視察したドイツ連邦議会の視察団団長を務めたアロイス・ゲリック議員は「岩見沢での技術は非常に先進的だ」と話した。ドイツでも農業者の担い手不足への対応や生産性の向上は課題だとい、持続可能な農業のためにはスマート化の推進が不可欠だ。日独でノウハウの共有をさらに進めていきたい」と述べた。

札沼線代替バス 月形の協議会 運賃や停留所を承認

【月形】町や公共交通事業者らでつくる町地域公共交通活性化協議会が10日、町役場で開かれた。来年5月のJR札沼線一部廃止に伴い運行する月形町と石狩管内当別町、浦臼町を結ぶ

札沼線代替バスの運賃や停留所などを承認した。代替バスは、月形駅を起点にJR北海道医療大学駅を経由してJR右狩当別駅までを結ぶ25・9キロの「月形当別線」と、浦臼駅を起

例年より早く発売した2020年用のカレンダー

